

# えひめの環境CSR活動 応援ブック

できることから  
はじめましょう



愛媛県イメージアップ  
キャラクター  
「みきゃん」

愛媛県



## 目次

はじめに .....	P 3
1 環境CSR活動のすすめ	
●CSRってなあに? .....	P 4
●えひめの現状と課題 .....	P 5
●これからはじめられること .....	P 8
2 活動事例紹介	
清掃活動・美化活動 .....	P 9
緑化・植林活動 .....	P 11
資源循環リサイクル・再生可能エネルギー・地球温暖化対策 .....	P 15
生物多様性 .....	P 20
環境学習 .....	P 21
そのほか .....	P 25
3 えひめの環境活動応援セミナーから	
●えひめの環境活動応援セミナー概要 .....	P 26
●セミナーをふりかえって: NPOや企業との協働 .....	P 27
4 環境CSR活動を応援します!	
●えひめリソースセンター／中間支援組織 .....	P 29
／環境活動に関する相談窓口 .....	P 31

## はじめに

わたしたちの住む愛媛県は、四季折々にその美しい姿を見せる海や山、川などの豊かな自然に恵まれています。こうした愛媛の環境は、県民のみなさんのかけがえのない財産であり、環境を守り、次の世代に引き継いでいくことが、わたしたちの責務です。

今日の環境問題は、生活排水や廃棄物などの身近なものから、地球温暖化、資源の枯渇といった地球規模の問題に至るまで、複雑・多様化しており、こうした課題の解決には、県民、事業者、環境活動団体、行政など、すべての主体が、環境とのつながりについての認識を深め、県民総ぐるみで環境保全に取り組んでいくことが必要であり、各主体が相互に連携・協力して、環境保全活動に取り組む「環境協働取組」が重要になってきます。

そこで県では、「環境協働取組」を進めるにあたって、ネットワークに対する人的・物的サポートが期待できる事業者の参画が、持続的な協働取組を進めるうえでの重要な要素のひとつであると考え、このたび、事業者の環境分野におけるCSR活動促進と、様々な主体との協働取組に向けた情報源とするための「えひめの環境CSR活動応援ブック」を作成することとしました。

この冊子が、きっかけとなり、様々な主体が協力し合って、地域における環境保全活動がますます活性化することを願っています。

終わりに、この冊子の作成にあたり、ご協力を賜りました事業者、環境活動団体など、関係各位に心から御礼申し上げます。

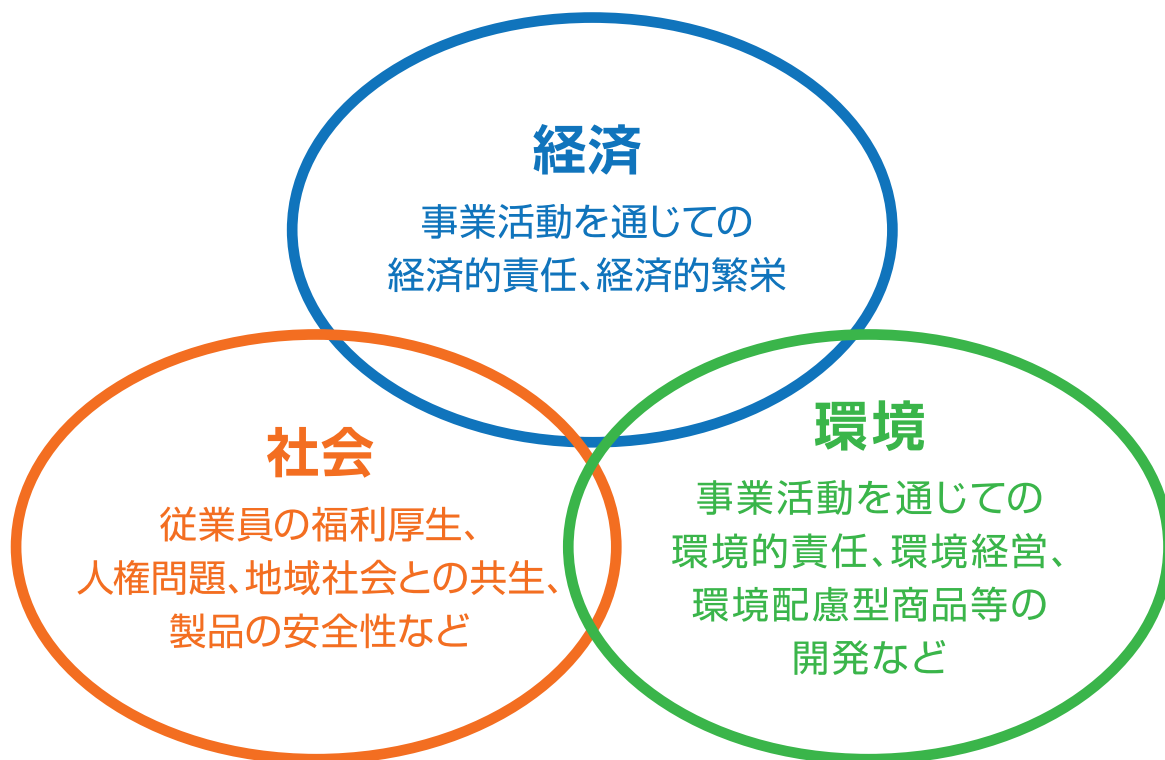
平成27年3月

愛媛県県民環境部環境局環境政策課



## CSRってなあに？

CSRとは、Corporate Social Responsibilityの略称で、「企業の社会的責任」と直訳され、企業活動を社会的公正性や環境保全等の観点から、利益の追求だけではなく、様々な社会的側面、環境的な側面においても公益や成果を高め、利害関係者に対して責任を果たす理念だとされています。



持続可能な社会を形成するためには、人権・労働問題・自然環境問題といった社会的課題を解決する必要があり、企業も、その課題解決のための責任を果たしながら、事業活動を行う必要があると考えられているのです。こうやってしまうと、なんだか、とても難しく感じますし、自身の会社の業務で手一杯で、社会的な責任なんて！と違和感をおぼえる事業者の方もいらっしゃるかもしれませんね。

CSRに関しては、国際連合が公表している国連グローバルコンパクトや国際標準化機構のISO26000、日本経団連の企業行動憲章など、さまざまな国際基準や規格があります。しかし、企業の規模などにより、その事業活動が社会に与える影響力も相違するため、活動に取り組まれる企業それぞれで、CSRと言われるところの「責任」の形・捉え方も変わってくるのではないのでしょうか。

ひとつの考え方として、CSRのR、**Responsibility**を「責任」ではなく、「**信頼**」と訳して、CSRとは、企業の社会的「**信頼**」=社会に信頼を築く経営だと提唱されている方がいらっしゃいます（※注）。どうです？「信頼」と聞けば少し、身近に感じませんか。

本誌では、事業者のみなさんの社会貢献活動としての環境保全活動全般を、「環境CSR活動」として、スポットを当てています。

事業者のみなさんが、それぞれの地域において、社会貢献活動の一環として環境保全活動に取り組んでいただくことで、地域の環境を守り、次の世代に引き継いでいくと同時に、地域の中での企業としての信頼を築き発展していただきたい。その第一歩の応援をしたいと考えています。

※えひめの環境活動応援セミナーより。

講師：京都CSR推進協議会会長明致親吾氏（⇒本誌P26参照）

## えひめの現状と課題

では、本県における環境CSR活動の現状はどうなっているのでしょうか。

そこで、県では、現状を知るため、広く県内事業所などに呼びかけ、アンケート調査や活動事例の募集を行いました。寄せられたアンケートの回答から得られた現状や課題、活動事例をお伝えしますので、実際にどのような活動が行われているのか、どのように進められているのかなどを知り、私たちにどのようなことができるのか、ちょっと考えてみませんか。

### ●環境分野の社会貢献活動(CSR)取組状況アンケート結果

調査概要	
調査目的	県内企業の環境分野の社会貢献活動(CSR)促進のための現状分析
調査対象	愛媛県内企業等(事業者組合等業界団体含む)
調査期間	平成26年8月13日～平成26年9月30日
調査方法	商工関係団体や事業者組合等及び県HPを通じてアンケート調査依頼
回答数	238社

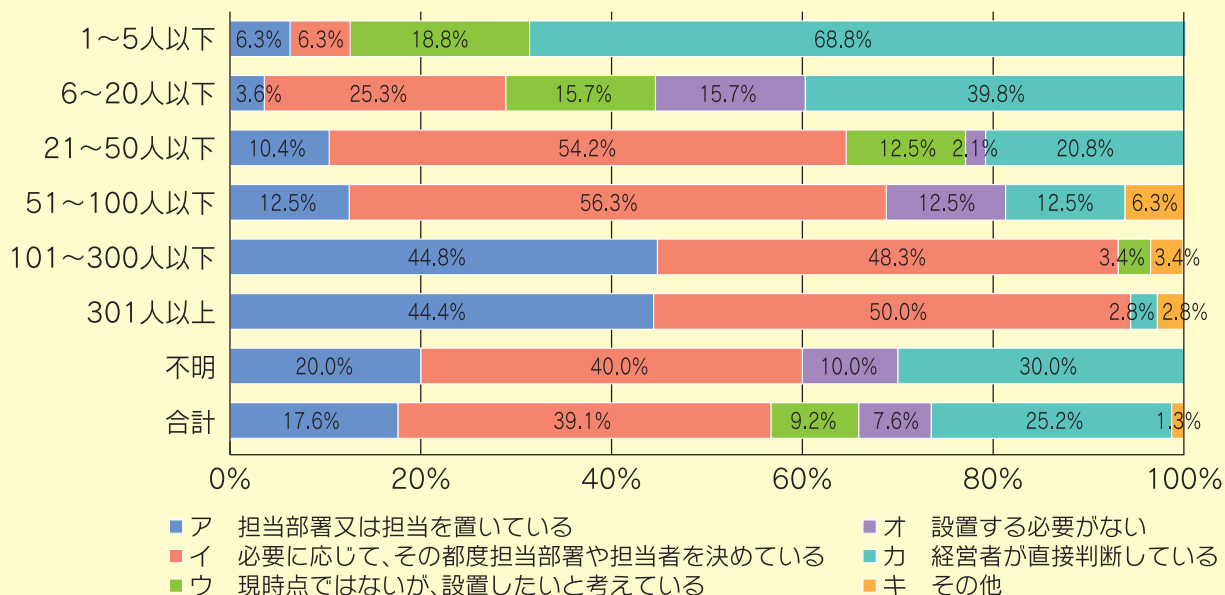
## 活動体制について

### 問) 社会貢献活動の担当部署を設置していますか。【1択】

○「必要に応じて、その都度担当部署や担当者を決めている」の回答が最も多く39.1%(93社)、また、3番目に多い「担当部署又は担当を置いている」17.6パーセント(42社)とあわせると全体の56.7%が、何らかの担当部署や担当者を決めている状況である。一方で、「経営者が直接判断している」も25.2%(60社)と2番目に多い回答であった。

なお、各回答を企業の従業員数別でみると、従業員数が多いほど、何らかの担当部署や担当者を決めている割合が多く、従業員数が少なくなるほど、経営者が直接判断している割合が多くなっている傾向がみられた。

#### 社会貢献活動の担当部署の設置状況×従業員数



## 活動状況について

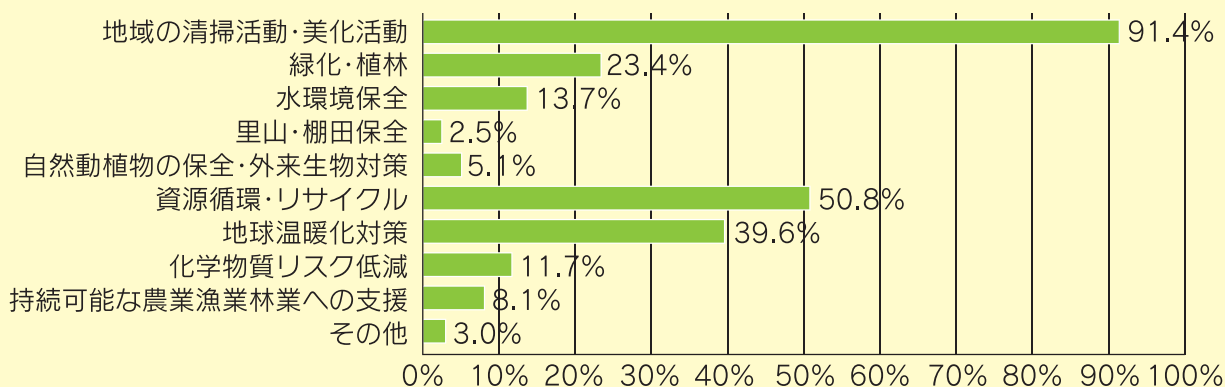
アンケートによると、238社のうち197社(82.8%)が、なんらかの環境分野の社会貢献活動を行っているという回答していました。いったいどのような活動をしているのでしょうか。

### 問) 行っている環境分野の社会貢献活動の活動分野とその内容はどのようなものですか。【複数回答可】

○「地域の清掃活動・美化活動」の回答が最も多く、91.4%(180社)、次いで、「資源循環・リサイクル」が50.8%(100社)、「地球温暖化対策」39.6%(78社)と続く。

活動の具体的内容は、自らの会社・工場周辺の清掃美化活動や愛ロード・愛ビーチ・愛リバーといった行政が実施しているボランティアサポート制度等を活用した道路・海岸・河川の清掃活動、廃棄物の分別や資源ゴミの再利用、節電対策や太陽光発電などの回答が多くみられた。

#### 行っている環境分野の社会貢献活動

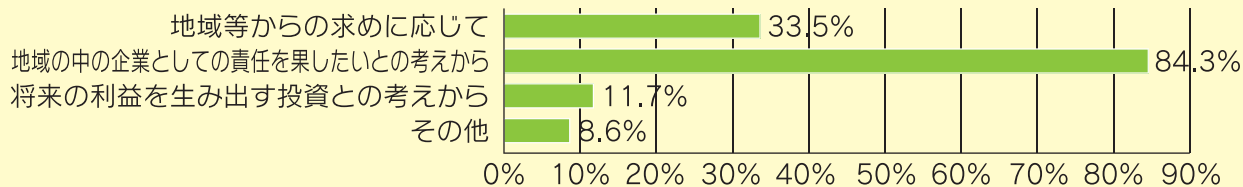


### 問) 環境分野の社会貢献活動を行うきっかけや理由はなんですか。【複数回答可】

○「地域の中の企業としての責任を果たしたいとの考えから」の回答が最も多く84.3%(166社)、次いで、「地域等からの求めに応じて」が33.5%(66社)となっている。

その他の具体的内容については、ISO14001の認証取得や、業界団体・行政等からの呼びかけをきっかけとするもの、また、創業以来の習慣であるなどの回答があった。

#### 環境分野の社会貢献活動を行うきっかけ



### 問) 環境分野の社会貢献活動について、どのような成果(地域住民や従業員、取引先等の利害関係者の反応等含め)がありましたか。【自由記載】

【サービス業】取引先、顧客から高く評価され、取引の安定化に寄与している。

【製造業】地域住民の事業に対する理解。社員の一体感。

【製造業】地域住民との関係の良化。

【建設業】社内で展開してきた環境保全活動が従業員に定着し、結果として地域社会に貢献できていると思う。従業員の意識が向上したことが一番の成果。

【建設業】地域住民には感謝され、顔見知りになった事で仕事の依頼をもらうようになった。

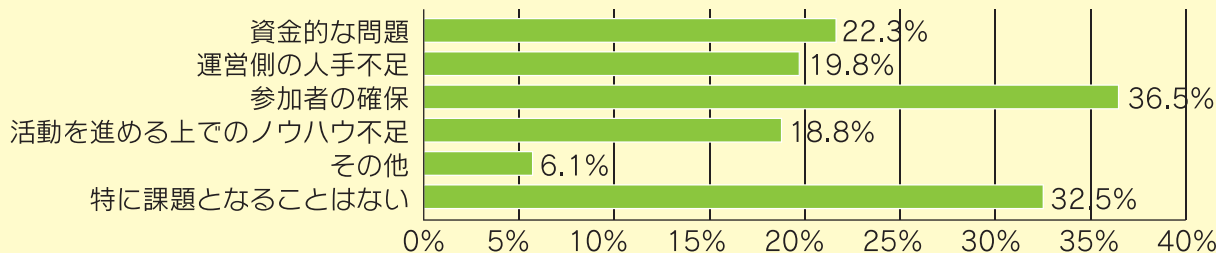
【卸売・小売業】食品リサイクルによる商品を販売することで、消費者の信頼と活動への理解が進んでいる。 など。

## 活動の課題など

### 問) 環境分野の社会貢献活動を行う上で、苦勞や困っていることなど、課題となっていることはありますか。【複数回答可】

○「参加者の確保」の回答が36.5% (72社)、次いで「資金的な問題」が22.3% (44社)、「運営側の人手不足」19.8% (39社)、「活動を進める上でのノウハウ不足」18.8% (37社)と続く。  
一方で、「特に課題となることはない」とする回答も32.5% (64件)あった。

#### 活動を行う上での苦勞や困っていること



また、環境分野の社会貢献活動に取り組む上でのNPOや行政等と関わりについては、「ある」と回答した企業が39.6% (78社)、「ない」と回答した企業が57.9% (114社)となっており、「ある」の回答の具体的な内容としては、清掃活動における河川や道路等の管轄の国・県・市町、清掃や植樹等の環境保全活動を主催する環境団体や業界団体、などの回答がありました。今後については、

### 問) 環境分野の社会貢献活動に取り組む上で(又はこれから活動をはじめると)、行政やNPO等に期待する役割・支援はありますか。【複数回答可】

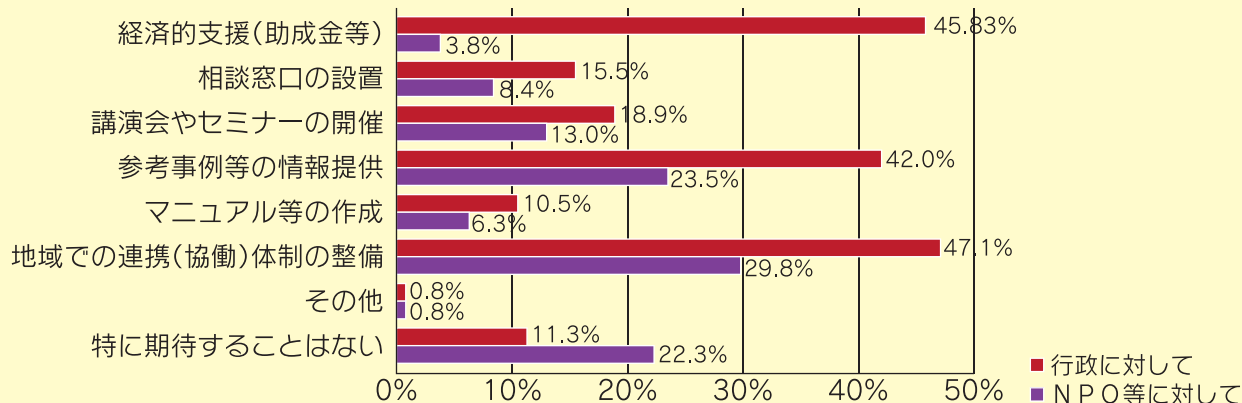
#### ○【行政に対して】

「地域での連携(協働)体制の整備」の回答が最も多く47.1% (112社)、次いで、「経済的支援(助成金等)」45.8% (109社)、「参考事例等の情報提供」42.0% (100社)と続く。

#### 【NPO等に対して】

「地域での連携(協働)体制の整備」の回答が最も多く29.8% (71社)、次いで「参考事例等の情報提供」と23.5% (56社)が回答する一方で、「特に期待することはない」の回答も22.3% (53社)あった。多くの企業が、地域において活動を行う上では、地域との連携(協働)の体制整備が重要であると考えており、経済的支援や参考事例の提供を要望する声が多くみられたことから、企業に対して、活動を行うための具体的な方法の情報提供や支援を行う必要があることが推察された。一方で、企業のNPOに対する理解は十分ではないことも伺えた。

#### 環境分野の社会貢献活動に取り組む上で、行政やNPO等に期待する役割・支援



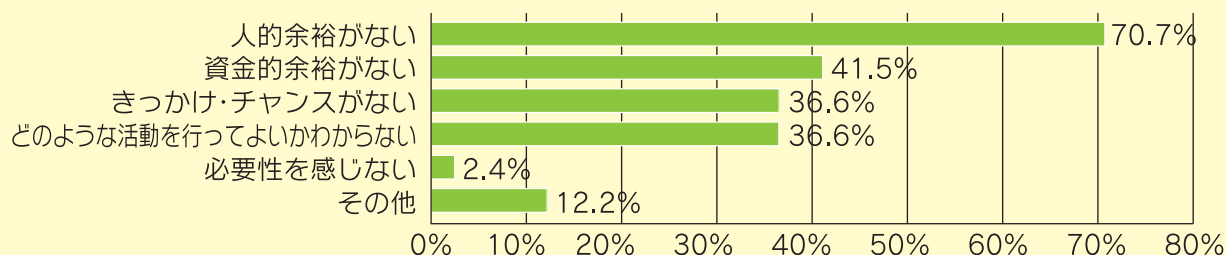
## 活動しない理由

一方、環境分野の社会貢献活動を行っていないと回答した企業41社(17.2%)の活動を行わない理由については、

### 問) 環境分野の社会貢献活動を行っていない理由はなんですか。【複数回答可】

○「人的余裕がない」の回答が最も多く70.7%(29社)、次いで、「資金的余裕がない」が、41.5%(17社)、「きっかけ・チャンスがない」と「どのような活動を行ってよいかわからない」が、各36.6%(15件)となっている。

#### 環境分野の社会貢献活動を行わない理由



## これからはじめられること

これまでのアンケート調査結果から、多くの企業が、地域の中の企業としての責任を果たしたいとの考えや、地域等からの求めに応じるかたちで、環境分野の社会貢献活動(環境CSR活動)に取り組んでおり、地域住民から感謝され関係が良化したとか、取引先や顧客から高く評価され取引の安定化に寄与しているとか、従業員の意識が向上したなどの成果もみられたようです。

これから活動を行う(はじめる)上で、なにができるのか、どうやればよいのか考える参考としての活動事例等の情報や支援が必要なこと、また企業だけでなく、行政やNPO等が地域で連携して行うことが重要であることも見えてきました。

地域で求められているのはなんだろう？

地域の中の企業として、私達にできることはなんだろう？

これを解決するには、誰かの協力も必要だなあ。。

大変だけど、良いこともあるのか！

なにしたらいいのかな？





県内の事業所では、いったいどのような環境CSR活動を行っているのでしょうか。  
この応援ブックに掲載する活動事例として応募のあった事業所等の事例から、いくつかご紹介します！  
まずは、アンケート調査結果でも実施が多かった清掃活動から。

### 清掃活動・美化活動

## 地域をきれいに

たくさんの事業者の方々から

### ／どんなことやっていますか？そのきっかけは？

環境月間やクリーン愛媛運動  
などの呼びかけをきっかけに

定期的に会社周辺を

愛リバー・サポーターになって

- ・おそうじ隊と称して、国道・県道や会社近辺の道路・水路などを清掃しています。
- ・グループ事業所が一斉に活動日を決めて活動しています。
- ・休み時間を利用して会社周辺を清掃しています。
- ・創立記念をきっかけに、これまで支えてくださった地域の方への感謝の気持ちから始めました。
- ・約10年間会社前の河川清掃を定期的に実施しています。
- ・石手川などの一定区間のサポーターとして、河川敷の清掃美化活動をしています。

### ／活動してみてもうですか？OR課題・今後について

- ・事業所周辺が綺麗になり、清々しい気持ちになりました。周辺の方と挨拶を交わすようになり、地域と一体になったように感じます。
- ・地域住民から感謝の言葉をもらうようになりました。
- ・地域との関係が良好になりました。
- ・従業員の環境活動への意識向上につながりました。
- ・回収した廃タイヤなどの処分には困っています。

愛リバー・愛ロード・  
愛ビーチ・サポーター制度を  
知っていますか？  
⇒P10



次の事業所の方々から、地域の清掃活動の取組みについて、ご応募いただきました。

事業所名	所在地	活動内容
南海測量設計株式会社	松山市中村	クリーン愛媛運動の一環で道路等の清掃
日本通運株式会社松山支店	松山市大手町	定期的に事業所周辺の清掃活動
リコージャパン(株)関西事業本部愛媛支社	松山市辻町	愛リバー・サポーター活動や国道等の清掃
ルナ物産株式会社	松山市南高井町	毎月第一水曜日の朝は、工場近隣の清掃
株式会社ベルモニー	松山市吉藤	定期的に会社前の河川清掃を10年間継続
西条市農業協同組合(JA西条)	西条市神拝	JA西条 ボランティア一斉清掃
株式会社STNet 愛媛支店	松山市天山	環境月間「事業所周辺清掃活動」

## 愛リバー・愛ロード・愛ビーチ・サポーター制度について

愛媛県では、美しい河川環境、道路環境及び海岸環境の創出・維持を図るため、愛リバー・愛ロード・愛ビーチ・サポーター制度を創設し、地域の住民・行政・団体等のパートナーシップによる河川、道路及び海岸の愛護活動を実施しています。



一定の要件に合致するグループ等で、制度に御登録いただければ、清掃活動に必要なごみ袋などの作業用具の支給、ボランティア保険の加入など、あなたのグループの清掃活動をお手伝いします。

また、愛リバー・サポーター制度では、飲料水等を御提供いただく、物品協賛企業も募集しています。なお、協賛物品は、飲料水だけでなく、愛リバー・サポーター団体が必要とする活動物資(軍手、火ばさみ、鍬、鎌、草刈機、混合油等)も募集しておりますので、是非御協力をお願いします。(26年度は12社が協賛)

愛ロード制度では、除草や剪定作業を行うための協賛金を御提供いただく「道路美化スポンサー」企業や、照明灯の材料費を御負担いただく、「道路照明灯スポンサー」企業等も募集しておりますので、御協力をお願いします。

### 詳しくは、こちらまで

#### 愛リバー・サポーター制度は

お問合せ：愛媛県 土木部 河川課 ☎089-912-2671

ホームページ：<http://www.pref.ehime.jp/h40600/river/loveriver/about.html>

※物品協賛制度ホームページは

<http://www.pref.ehime.jp/h40600/river/loveriver/support.html>

#### 愛ロード制度は(サポーター、道路美化スポンサー、道路照明灯スポンサー)

お問合せ：愛媛県 土木部 道路維持課 ☎089-912-2720

ホームページ：<http://www.pref.ehime.jp/h40900/airoad/airoad.html>

#### 愛ビーチ・サポーター制度は

お問合せ：愛媛県 土木部 港湾海岸課 ☎089-912-2690

ホームページ：[http://www.pref.ehime.jp/h40500/5742/love\\_beach/beach01.html](http://www.pref.ehime.jp/h40500/5742/love_beach/beach01.html)

### ☆クリーン愛媛運動を知っていますか？

県では、豊かな自然と風土に恵まれたふるさと愛媛を清潔に保持し、住みよい快適な生活環境を創造するため、市町や事業者、一般県民に積極的に呼びかけ、クリーン愛媛運動を展開しています。

特に7月を「強調月間」、また、国が定めた環境衛生週間(9月24日～10月1日)を「秋のクリーン愛媛運動」として、活動の実践を広く県民に呼びかけ、地域住民の参加と協力による環境美化活動を展開しています。

また、活動の実践にあたっては、清掃美化活動だけにとどまらず、工場、事業場等からの大気汚染、水質汚濁、騒音等の防止のための自主点検等も呼びかけています。

環境CSR活動には、地域への貢献といった観点から行う活動とは別に、地域環境への負荷をかけないとの観点から周辺の環境に配慮した企業行動を行うという面もあります。

ぜひ、クリーン愛媛運動の趣旨をご理解いただき、環境配慮と地域貢献の両面からの実践をお願いします。

## 緑化・植林活動

## 未来に残す健康で豊かな森づくり

四国加工株式会社

## ／どんなことをしていますか？

7年ほど前から、森林整備・保全のボランティア団体「石鎚水源の森くらぶ」の活動に参加しています。主な活動は、東予地域の森林で、間伐や除伐、下草刈りや植樹といった森林整備作業を行うことです。

## ／活動のきっかけは？

私たち四国加工は主に国産木材を使った製品作りを行っているため、「森を守るためにできる事」はなんだろう、と考えました。

まずは「知る」ことが大切だという思いから、森林整備・保全のボランティア活動への参加を決めました。この活動を通して森林・林業を実感する中で、社員一人一人に、森林の恩恵、林業の環境に与える影響を知ってもらうこと、また、人工林の現状を知り、森林整備の重要性、水源涵養能力の高い森づくりの必要性を学んでもらうことを目指しました。

それぞれが学びを得ることにより、自分たちが環境に関わる位置にある事を自覚し、森林整備を通じて①地域環境貢献として東予流域の自然的財産である地下水を保全して後世に引継ぐこと、②国土保全、地球温暖化の防止、生物多様性の保全など、森林の有する多面的機能の発揮に貢献すること、③林業の持続的かつ健康な発展に寄与すること これらに繋がる取組みができればと考えました。



下草刈りの作業のようす。地道に…。

## ／活動してみてもうですか？ OR課題・今後について

林業とは、植林→育林→伐採→丸太販売、を行う山の中の仕事、という認識が一般的だろうと思いますが、我々もこの活動に取り組むまでは同じ理解でした。しかし、この活動に携わり、山の中でなくとも、木に関わる私たちの仕事は林業の一環なのだと思えるようになりました。

昨今ではどの産業においても「持続可能」という言葉がキーワードになっていますが、林業界においても持続可能な森林管理は大変重要な課題となっています。日本の森林は今収穫期を迎えています。林業経営は厳しい状況にあり、森林の適切な整備が行われない箇所もみられます。適切な森林管理とは、木を伐って植えて育てる、という循環の持続と、森林の持つ多面的な機能の発揮の継続、これら二つを両立させることです。

これに対して私たちができることは、間伐等の適切な伐採を推進するために木材の有効利用を提案することです。また、一般に対して森林管理の持つ意味を周知する事も我々が行うべき大切な仕事なのではないかと思うようになりました。そういった意味で、私たちは今後林業従事者の一員という意識で、さらに日本の森林・林業に寄与できる集団でありたいという思いを強くしています。

社員の中には森林と林業の関係に対する知識を深めるため、社会人大学院生として森林・林業を総合的に学ぶために大学院に通う者も出てきました。今後もいろいろな活動を通して学びを深めながら、高い意識を持って日本の森林・林業と環境に貢献できるよう、取り組んでいきたいと思っています。

四国加工株式会社

従業員数：6名

〒792-0856 新居浜市船木4986-1 ☎0897-44-7337

ホームページ(ウェブストア) : <http://www.rakuten.co.jp/sikoku-kako/>

緑化・植林活動

## 森のあるまちづくりをすすめる会

●伊予銀行エバーグリーンの森 ●環境基金エバーグリーン  
株式会社伊予銀行

## ／どんなことをしていますか？

「街なかに『ほんものの森』をつくる」ことを目的につくられた「『森のあるまちづくり』をすすめる会」の事務局として活動しています。会には、活動の主旨に賛同した愛媛県や松山市を含め、県下64の自治体・企業が会員として参加し、共同で、平成22年より宮脇方式による植樹活動を実施、県内の公園・道路など公共施設のほか、会員企業の本社・工場など、これまでに40箇所以上で累計4万本以上の植樹を実施しました。

宮脇方式(※)により植樹された木は、環境保全だけに終わらず、防災、いこいの場の提供など多くの恵みを与えてくれます。

※宮脇方式とは、横浜国立大学名誉教授の宮脇昭先生が提唱するその土地にあった「ほんものの森」をつくることを目的とした植栽方式

## ／活動のきっかけは？

身近なところに、その土地本来の森を形づくる樹木の植樹および育成を通して、企業による自然保護活動の活性化と、森づくりの大切さを広く県民に伝えたいとの思いから本会を発足させました。

## ／活動してみてもうですか？ OR課題・今後について

これまでたくさんの企業・団体の方々が、活動の主旨に賛同していただき、4万本を超える植樹を実施することができました。とくに、将来を担う子供たちが植樹に参加して「森づくり」を体験してくれたことが大変意義深いことです。

これからも、よりたくさんの「ほんものの森」をつくるために、みんなで植樹ができる場所を確保していくことが今後の課題です。



## ／そのほかどんなことをしていますか？

愛媛県が行っている「企業の森づくり」にも参加し、平成20年より、伊予銀行と愛媛県、大洲市、愛媛の森林基金が「企業の森林づくり活動協定」を締結し、森林基金に対して寄附を行うと同時に、伊予銀行役職員等のボランティア活動により森林整備を行っています。

そのほか、公益信託伊予銀行環境基金エバーグリーンを設立し、愛媛県内で環境保全活動に取り組まれている団体・個人の皆様を対象に、助成金として、活動資金の一部を援助させていただき活動を行っています。平成20年より、延べ92先、約33百万円の助成金を贈呈しました。また、その助成先の環境保全活動に対し、行員のボランティア参加も随時行っています。

株式会社伊予銀行

従業員数：4,311名

〒790-8514 松山市南堀端町1番地 ☎089-941-1141

ホームページ：http://www.iyobank.co.jp

緑化・植林活動

## コープえひめ未来の森

生活協同組合コープえひめ

### ／どんなことをしていますか？

コープえひめは、環境の取り組みの一環として、愛媛県が行っている「企業の森づくり」に参加し、愛媛県・今治市・コープえひめの三者で「森林づくり協定」を締結しています。今治市より玉川町鈍川の約4haを活動フィールドとしてご提供いただき、森林の愛称を「コープえひめ未来の森」とし、保全活動に取り組んでおります。2014年度の取り組みは第6回目の活動で、森林教室、間伐・枝落としの森林整備活動を予定しておりましたがあいにくの雨の為、屋内にて森林についての学習会と間伐材を使った木工教室を、組合員・役職員家族、愛媛県、今治市と協力し、総勢72名で実施いたしました。

森林教室では、愛媛県より「企業の森づくりについて」の取り組みについてご説明いただきました。続いて今治市より、「身近にある森林について」というテーマで、森林の機能にや、山にいる危険な生物(マダニ・スズメバチ・マムシなど)、山で動物に遭遇したときの対処法などを教えていただきました。人工林は手入れをしないと病気になってしまうので、健全な森林に導くために間伐作業を行うということ、私たちの活動の目的を改めて確認しました。木工教室は、森林を育て利用するというサイクルの中の、木材を利用するという視点で実施しました。スギの間伐材を使って小さな椅子と、枝落としをしたヒノキでストラップを作りました。完成した達成感はひとしお。小枝のストラップ、かんな屑のシールづくりは子どもたちも夢中になって作りました。森林に親しんだ1日となりました。(2014年度:2014年11月1日(土)に実施。)

### ／活動のきっかけは？

愛媛県が行っている「企業の森づくり」に参加し、愛媛県・今治市・コープえひめの三者で「森林づくり協定」を締結したこと。

企業の森づくりとは？  
企業への活動フィールド  
の提供など ⇒ P 14

### ／活動してみてもうですか？ OR課題・今後について

間伐作業など普段できない体験を通して、豊かな森ができる仕組みを知ることができました。またコープ職員だけでなく、組合員や市等の方々と一緒に取組むところが、とても良いと思います。

これからもコープえひめ未来の森の活動を進めていきます。

### ／これから活動する方へのメッセージ

今まで気にならなかった事に目がとまったり、環境に向き合うきっかけになると思います。



木工教室:小さな椅子を作っています。子どもたちは、ストラップを！



雨のため、室内で模擬間伐体験

生活協同組合コープえひめ

従業員数: 正規・嘱託職員: 399名、定時職員: 1,164名

〒791-1112 松山市朝生田町3丁目1-12 ☎089-931-5201

ホームページ: <http://www.coopehime.or.jp>

## 「企業の森づくり」活動とは？

愛媛県では、企業の方々の参加によるふるさとの森林づくりをすすめています。

### ①企業の森づくりとは？

企業の社会的責任・環境経営・地域貢献意識の高まり

⇒ 住民等と企業の協働による森づくり展開

⇒ 環境貢献・地域貢献



### ②“企業の森づくり”活動協定内容は？

①協定森林区域、②期間（3年～5年間）、③提供資金、④活動内容等  
企業・森林所有者・資金受入団体・愛媛県等で書面協定  
企業の要望 ⇒ 協定内容 ← 森林所有者等と協議



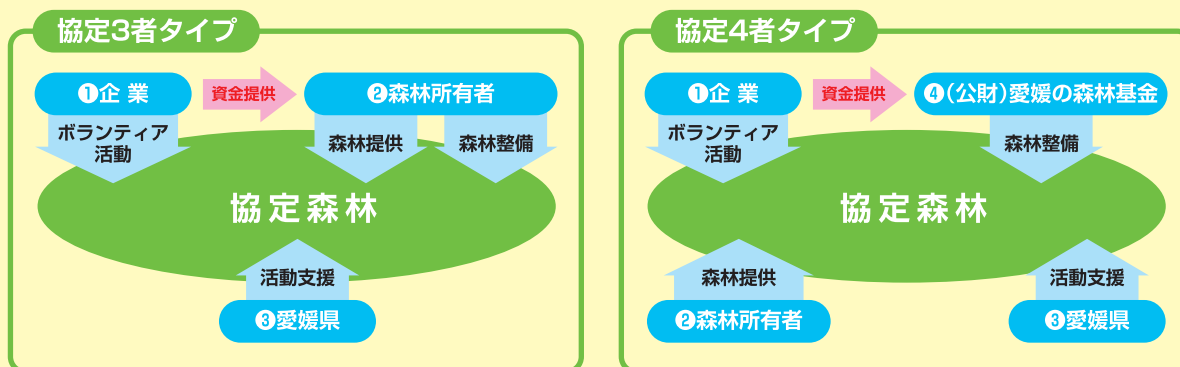
### ③協定森林はどう整備する？

①企業ボランティア作業による森林整備 } ①、②セットで継続的整備  
②提供資金による専門的な森林整備

森林整備の活動内容

：地拵、植栽、下刈、枝打ち、除伐、間伐、木工、キノコ植菌、森林林業教室 等

また、協定は次の2タイプがあります。



#### ●協定者の主な役割

- ①企業：資金提供・継続的森林整備ボランティア活動
- ②森林所有者：森林の提供、森林整備計画策定諸手続き  
(協定3者タイプは、資金受入・資金による森林整備・実績報告)
- ③愛媛県：森林整備活動支援・連絡調整・情報発信・PR
- ④(公財)愛媛の森林基金：資金受入・森林整備・実績報告

お問合せ：愛媛県森の交流センター ☎089-990-7017 FAX089-990-7073

お問合せ：農林水産部森林整備課保護緑化係 ☎089-912-2597 FAX:089-912-2594

ホームページ：<http://www.pref.ehime.jp/h35900/6366/kouryucenter/index5.html>

資源循環リサイクル・再生可能エネルギー

**使用済み割りばしからペレット燃料をつくろう** 有限会社 内藤鋼業**／どんなことをしていますか？**

使用済みの割り箸を回収し、弊社の小田工場で燃料用のペレットを製造しています。松山工業高校・内子管内の小中学校・大洲市商工会等で割り箸を集めていただいております。

内子町子ども環境会議などは、使用済み割り箸からペレットを製造し、ペレットストーブの燃料としているところを実演、子ども達はそれを見学し、環境について考える機会としてもらっています。

**／活動のきっかけは？**

内子町バイオマス構想に関わりを持つ中で、木質ペレットの製造を始めました。ペレットは主に間伐材を利用し、製造していますが、なにか街から出てくるもののバイオマスの利活用を考えた時、思いついたのが同じく間伐材で作られた割り箸。松山工業高校へは、バイオマス関連の授業で講師を務めたのが縁となり、生徒達の自主的な取り組みとして使用済み割り箸の収集が始まりました。

**／活動してみてもうですか？ OR課題・今後について**

集められた割り箸は、引き取る際に1キロあたり、1ポイントを付与し、学校等ではポイントを集めて、ペレットなどに交換することができます。ポイント数によっては、ペレットストーブに替えることも可能です。

これからは、飲食業者などにもご協力いただいて、収集活動が活性化すると良いなと思います。また、ゆくゆくは『わりばしペレット協議会』なるものを設立し、趣旨に賛同した他の事業者にも、割り箸を引き取る際のポイントを加算していただくことで、収集活動の意欲を増進し、活動がもっと活性化すると良いなと考えています。

関わる子ども達や大人が増えてゆくことは、みんなが環境について考える機会になると思うし、バイオマスの利活用が進むと良いと思っています。



集められた割り箸が、こうしてペレットになっていきます。

**／そのほかどんなことをしていますか？**

「えひめペレットクラブプロジェクト」の事務局をしています。クラブは、ペレットを使用いただいている方々(個人・団体・法人)で構成し、クラブ全体で削減したCO<sub>2</sub>でオフセット・クレジット(J-V E R)を販売、その資金を再びペレット原料の間伐材購入に使うプロジェクトです。

有限会社 内藤鋼業

従業員数：20名

〒795-0301 喜多郡内子町五十崎甲2126-1 ☎0893-44-3063

ホームページ： <http://www.naito-kogyo.co.jp/>

資源循環リサイクル・再生可能エネルギー

## 使用済み天ぷら油の回収から環境活動等への支援に 株式会社 愛媛銀行

## ／ どんなことやっていますか？

当行では平成20年12月から、一般家庭等のゴミとして捨てられている天ぷら油等廃食油を回収し、リサイクル業者(エコバイオ株式会社)と提携してバイオディーゼル燃料へ再利用する活動を行っています。身近な廃食油が燃料へ再利用され、バスやトラックの燃料として使用されることは、ゴミ減量や石油使用量の削減、地球温暖化防止等の環境保全につながりますし、地域社会に還元されることは、本活動に参加する行員並びに地域の環境意識の向上にもなっています。

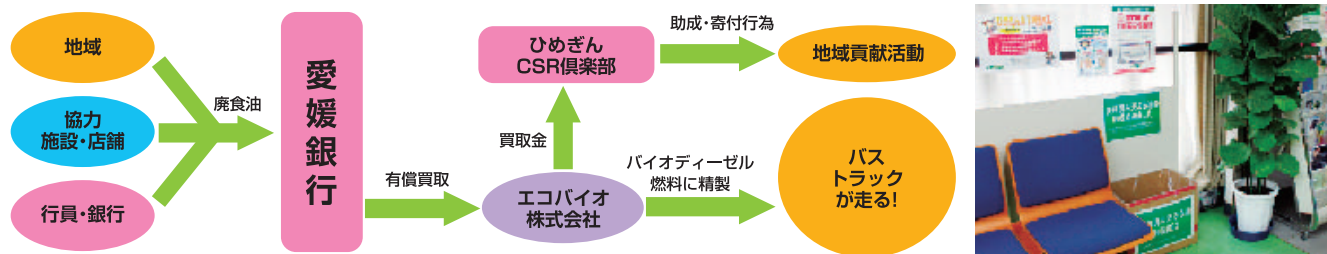
また、集めた廃食油が回収業者に有償買取される際に得られた収入は、「ひめぎんCSR倶楽部」(\*)を通じて、環境分野などの県内社会貢献活動に活用されています。

## ／ 活動のきっかけは？

取組み当初は、本店・研修所に勤務する行員家庭と食堂、並びに県内社宅7か所を回収対象として始まりました。平成22年からは県内25カ店に回収ボックスを設置し、行員だけでなくお客様も対象とした取組みに拡大。現在では、計61カ店の当行店舗での回収に加え、本活動に賛同いただいた行外の県内各施設・店舗からも廃食油が集まり、大きな環境保全活動となりつつあります。

## ／ 活動してみてくださいですか？ OR課題・今後について

平成26年3月末までの回収実績は27,234リットル、200リットルドラム缶136本分以上。また、そこから精製されるバイオディーゼル燃料は24,510リットルにもなり、なんと地球を6周走行することが可能な量となりました。今後とも地域のご協力の下、続けていきたいと考えています。



※「ひめぎんCSR倶楽部」は、地域貢献のために行員の寄付金等を主な財源として環境・福祉・教育及び文化・スポーツ等への助成活動等を行っています。

## ／ そのほかどんなことをしていますか？

当行は「せいよ森林資源活用プロジェクト」に賛同し、西予市が発行するオフセット・クレジット(J-V E R) 50t-CO<sub>2</sub>を購入しました。これにより、当行本店での電気使用により排出されるCO<sub>2</sub>約1.5カ月分を相殺(オフセット)しました。購入したクレジットは「せいよ夢基金」として、森林再生や環境対策に活かされています。

※オフセット・クレジット(J-V E R)とは森林経営により一定の温室ガスを吸収した事業者が、その吸収量について同制度に基づきクレジットを取得し、事業活動で温室効果ガスを排出している企業との間で売買することができる制度です。

株式会社 愛媛銀行

従業員数: 1,359名

〒790-8580 松山市勝山町2丁目1番地 ☎089-933-1111(代)

ホームページ: <http://www.himegin.co.jp/>



資源循環リサイクル・地球温暖化対策

## 社員みんながエコ活推進委員です！

佐川印刷株式会社

## ／どんなことをしていますか？

私たちは、地球環境保全への取り組みが重要な経営課題であると認識し、豊かで美しい地球を次世代に残せるよう、社員みんながエコ活推進委員としてさまざまなエコ活動に取り組んでいます。

主な活動は、

- 1.環境マネジメントシステムISO14001認証2002年7月
- 2.環境にやさしい印刷(環境保護印刷推進協議会基準)E3PA認証(ステータス:ゴールドプラス)
- 3.省エネ「クールビズ・ウォームビズキャンペーン」「使用電力量デマンド管理」  
LED照明設備への切換え、緑のカーテン活動、一部は雨水を利用しています
- 4.環境イベント参加「愛媛の3R企業展」「松山環境フェア2014」
- 5.地域清掃活動「まつやまマイロード」「事業所周辺清掃奉仕活動」「大川清掃活動」
- 6.愛媛県立図書館主催「エコトーク」  
松山市役所主催「サマーエコキッズスクール」講師
- 7.愛媛県資源循環優良事業者認定
- 8.グリーン購入対象品購入

愛媛県資源循環優良  
モデル認定制度とは？  
⇒P18

## ／活動のきっかけは？

地球温暖化が社会の大きな問題になったのをきっかけに、社会の一員である企業として何ができるかということを考え、環境問題に真剣に取り組むようになりました。最初は事業の環境負荷低減や3Rの活動を中心に行いましたが、我々の事業活動内だけの影響は限られているので、地域の清掃奉仕や環境活動への参加や次世代を担う子供達への教育などエコ活動の普及へも活動範囲を広げています。

## ／活動してみてもうですか？ OR課題・今後について

私たちの環境活動が、地域の環境活動を盛り上げるよう努力したいと思います。

価格競争だけではなく、環境優良企業の製品やサービスが評価されるような社会になればいいと思います。



## ／これから活動する方へのメッセージ

環境活動は、潜在的に必要と感じている人は多いと思いますが、行動に移すには、初めの一步を踏み出す動機付けとして企業トップの号令も必要かと思っています。活動を始めると、資源に対する意識(無駄)や地域環境への関心、社内でのコミュニケーションなど社内風土も変化します。

佐川印刷株式会社

従業員数：90名

〒791-8018 松山市問屋町6-21 ☎089-925-7471

ホームページ：http://www.sakawa.co.jp/



## 愛媛県資源循環優良モデル認定制度とは？

愛媛県では資源を節約するとともに環境負荷の少ない循環型社会の構築を目指してさまざまな取組みを進めており、そのモデルとなるようなリサイクル製品、廃棄物のリデュース・リユース・リサイクル等を積極的に実施している企業や店舗等を「資源循環優良モデル」として認定しています。



愛媛県資源循環優良モデル認定制度シンボルマーク

### 認定されると

- シンボルマークの使用が認められます。
- 認定された製品、企業及びエコショップを紹介するパンフレットを作成・配布します。
- 県のホームページや情報誌等へ掲載します。
- 環境関連イベントにおいて認定製品の展示、企業やエコショップの取組みを紹介します。
- 四国4県で認定製品を相互推奨します。

### エコビジネスを支援しています

愛媛県では、環境ビジネスの育成・支援や企業間ネットワークの構築を図るため、資源循環優良モデルの取組みを、県民や県内企業等に普及啓発するエコビジネス支援事業を行っています。

#### ●「愛媛の3R企業展」の開催

優良リサイクル製品や優良循環型事業所等の取組みを、大型ショッピングセンターでPRすることで、普及啓発を図りました。

開催日：平成26年10月11日(土)・12日(日)

場 所：エミフルMASAKI



#### ●愛媛県・松山東雲学園連携「マーケティング塾」の開催

「売れるリサイクルモデル」をテーマに製品の開発や販路拡大に向けて、専門家によるセミナーを開催しました。

開催日：平成26年8月2日(土)

場 所：松山東雲女子大学・松山東雲短期大学



#### ●「エコプロダクツ2014」への出展

日本最大級の環境展示会に出展し、認定製品等をPRすることで、普及啓発と販路拡大を図りました。

開催日：平成26年12月11日(木)～13日(土)

場 所：東京国際展示場「東京ビッグサイト」



お 問 合 せ：愛媛県県民環境部環境局循環型社会推進課 ☎089-912-2355

ホームページ：<http://www.pref.ehime.jp/h15700/4731/index.html>

## 愛媛県環境保全資金融資制度のお知らせ



愛媛県では、中小企業者や中小企業団体を対象として、環境保全に関する資金を低利で融資しています。

### 資金を利用できる方

中小企業者又は中小企業団体で、次のいずれかの要件を満たしている方です。

- 1.これから公害防止施設等又は保全施設等を設置しようとする方、  
環境浄化対策をしようとする方、  
公害防止のために工場・事業場の移転をしようとする方、  
ISO14001やエコアクション21などの認証取得をしようとする方(※)
- 2.愛媛県内に工場又は事業場を有する方で、6ヶ月以上引き続いて現在の事業を営んでいる方  
※平成27年度から、環境保全資金の融資対象に、「エコアクション21の認証取得」が追加されます!

### 融資の条件

- 融資限度額:5,000万円以内
- 融資利率:年 1.70%(平成27年度の場合)
- 融資期間:10年以内(据置期間1年以内を含む。)
- 担保・保証:取扱金融機関所定の扱いによる
- 返済方法:原則として分割弁済

### 融資についてのお問い合わせ

最寄りの伊予銀行、愛媛銀行  
愛媛県 県民環境部 環境政策課 ☎089-912-2345

E-mail : [kankyou@pref.ehime.jp](mailto:kankyou@pref.ehime.jp)

ホームページ : <http://www.pref.ehime.jp/kankyou/k-hp/theme/other/yuusiseido.html>

## エコアクション21とは?

「エコアクション21認証・登録制度」は、環境省が策定したガイドラインに基づき、環境への取り組みを適切に実施し、環境経営のための仕組みを構築、運用、維持するとともに、環境コミュニケーション(環境報告)を行っている事業者を、第三者機関が認証し登録する制度です。

ガイドラインには、国際標準化機構のISO14001企画をベースとしつつ、中小企業等の方々でも取り組みやすい環境経営システム(環境マネジメントシステム)のあり方が規定されています。

エコアクション21を活用して、環境経営に取り組むことにより、環境への負荷を減らすと同時に、経費削減や生産性向上など、経営面での効果も期待できます。

エコアクション21地域事務局 愛媛県中小企業団体中央会

エコアクション21で  
企業力UP

〒791-1101 松山市久米窪田町337-1 テクノプラザ愛媛3F  
愛媛県中小企業団体中央会内 ☎089-955-7150 FAX:089-975-3611

E-mail : [ea21ehime@bp-ehime.or.jp](mailto:ea21ehime@bp-ehime.or.jp) ホームページ : <http://www.bp-ehime.or.jp/ea21/>

生物多様性：絶滅危惧種の保護

## 守れ地域の絶滅危惧種 トチカガミ・デンジソウ

東芝ライテック株式会社  
今治事業所

### ／どんなことをやっていますか？

愛媛で絶滅が危惧され、今治にしか自生していない「トチカガミ」「デンジソウ」を保護・育成する活動を行っています。環境活動団体「NPO森から続く道」のご協力で、アドバイスを受けながら弊社構内で「トチカガミ」「デンジソウ」を育成。今後、愛媛県自然保護課、環境活動団体「NPO森から続く道」と協議しながら、愛媛で絶滅が危惧されている他の植物についても保全活動を広げていきたいと考えています。

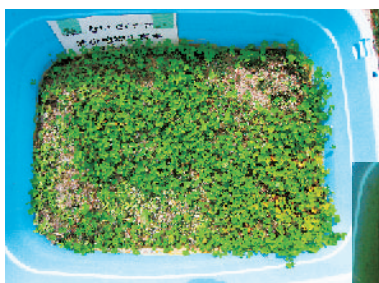
また、地域貢献の一環で、事業所周辺の清掃活動も実施しています。

### ／活動のきっかけは？

- ・東芝グループでは環境保護活動に注力しており、その一環として私たちも生物多様性の保全に取り組もうと考えたこと。
- ・環境活動団体「NPO森から続く道」の方から、今治で絶滅が危惧されている「トチカガミ」「デンジソウ」についての保護活動を紹介されたこと。

### ／活動してみてもうですか？ OR課題・今後について

手探りで始めたこの活動ですが、愛媛県自然保護課、環境活動団体「NPO森から続く道」のご協力で2年目の冬を迎えました。今は水槽で保護・育成をしていますが、今後、構内に小さなビオトープを構築し、これらの植物を育成する環境を整備していきたいと考えています。



デンジソウ



トチカガミ

構内での植物の保護育成状況



清掃活動の様子

### ／これから活動する方へのメッセージ

限られた地域にしか生育していない希少植物は多々あります。ふるさとの緑を守るため、愛媛県自然保護課、環境活動団体などに相談し、緑化活動の一環として希少植物の保全活動を進められてはいかがでしょうか。

東芝ライテック株式会社 今治事業所

従業員数 約350名(今治事業所)

〒791-8510 今治市旭町5-2-1 ☎0898-23-9800(代表)

ホームページ：<http://www.tlt.co.jp/tlt>

環境学習:資源循環リサイクル

## 「もったいない」の精神を子どもたちへ伝えたい 金城産業株式会社

### ／どんなことをしていますか？

弊社は、昭和2年創業以来、総合リサイクル業として主に金属、小型家電、パソコン、自動車などをリサイクルしています。

約10数年前より環境教育による地域貢献活動を始めました。テーマは「もったいない」を再認識してもらうことです。内容は、弊社の工場の見学では、パネル展示やビデオを視聴したあとに最先端のリサイクル工程の見学をして頂きます。

出前出張教室では、学校等に出向き、環境問題、リサイクル、江戸時代の話、世界の環境の話など受け入れ先の要望や対象となる方々の年齢等により最も興味の湧く講演をするように心がけています。

平成26年度はの実績は、県内や近県から小中学校9校、自治会8団体の延べ約960人です。また海外関連ではリオ+21や大連工業大学での講演や海外の視察団の受け入れも行っています。

### ／活動のきっかけは？

弊社社長が、1997年に国際連合大学でゼロエミッションを学び、環境教育に関心を持ち環境NPOの活動に参加し、弊社が2000年にISO14001の認証を取得しました。これをきっかけにリサイクル企業として環境教育活動を積極的に推進しています。

### ／活動してみてもうですか？ OR課題・今後について

工場見学の後は、子ども達から感想文やお礼状が寄せられます。「パソコンや車が、資源となってまた使えるんだなと感心しました。」「リサイクルに興味がわきました。いつも見られない機械をみるのができて良かった。」「わたしにもできる3R(リデュース、リユース、リサイクル)を頑張りたい。」などの声が寄せられると、伝わっているなど、とてもうれしく感じますし、社員達の仕事に対するやる気にもつながっています。

今後も積極的に活動を続け、子ども達に芽生えた小さな環境に対する意識が、大きく育ち、持続可能な社会へつながって行くといいなと思います。



リサイクル工程の見学:安全にも気を配りつつ



出前教室:興味を持ってもらえるかな?

### ／これからは活動をはじめようと考えている方へのメッセージ

環境に関心を持った時より、小さいことでいいので環境貢献活動をしましょう。

金城産業株式会社

従業員数 60名

〒790-8041 松山市北吉田町349-1 ☎089-972-3303

ホームページ: <http://www.eco-kaneshiro.com>

環境学習：生物多様性

## SAVE JAPAN プロジェクト

損害保険ジャパン日本興亜株式会社愛媛支店

## ／どんなことをやっていますか？

社会貢献の一環としてSAVE JAPAN プロジェクトに取り組んでいます。このプロジェクトは、2011年から実施している取組みで、47都道府県のNPOと地域の皆さまと損保ジャパン日本興亜が一緒になって、全国各地で「いきものが住みやすい環境づくり」を行うものです。

お客さまにWeb約款(※)をご選択いただくことにより、弊社がプロジェクトへ寄付を行い、地域の環境団体やNPO支援センター、日本NPOセンターと協働で、地域みんなで参加できる「市民参加型」の屋外イベントを開催しています。このプロジェクトの一番の目的は、地域住民の皆さんが環境保全活動に参加するきっかけを提供すること。このプロジェクトに参加していただくことで、皆さんが地域の自然環境に関心を持ってもらい、生物多様性を理解してもらうことへつながると考えています。

2014年度は特定非営利活動法人 西条自然学校・特定非営利活動法人えひめリソースセンターと連携し、西条市加茂川河口に広がる干潟で生き物の観察会を開催しました。

干潟という貴重な自然環境を、正しく・楽しく理解してもらえると同時に、干潟の大切さや生き物と環境のつながりを学ぶことを目的としています。社員も参加して、実際に触れて感じながら生き物と環境のつながりを考えました。

SAVE JAPAN プロジェクト2014 : <http://savejapan-pj.net/>

(※ Web約款とは、保険などの契約書を「紙」の印刷物ではなく、ホームページ上で閲覧できる仕組みです。)

## ／活動をしてみてどうですか？OR課題・今後について

- ・愛媛では初の干潟観察会でした。泥の中を歩き回り、カニや魚を探すのは子供のみならず大人も楽しみながら参加できました。たとえ生き物をなにも発見できなくても、干潟を掘ることによって空気と触れる面積を広くでき、結果、生き物が育ちやすい環境をつくることにつながるそうです。干潟などでカニや魚が泥をかきだして巣穴を作っていますが同じ意味があることも勉強することができました。
- ・地元の河川に希少な生物がたくさん生息していることを知り、環境を守っていかなければならないという使命感が生まれるきっかけとなりました。
- ・今回のプロジェクトは好評で、参加者を制限しなければいけませんでした。次回からは希望者全員が参加できるようなイベントを開催していきたいです。



## ／そのほかどんなことをしていますか？

- ・介護老人施設における車椅子の整備・清掃(AIRオートクラブ愛媛支部共催)

損害保険ジャパン日本興亜株式会社愛媛支店

従業員数 160名

〒790-8691 松山市千舟町4丁目6-3 ☎089-932-0969

ホームページ : <http://www.sjnk.co.jp/>

## 環境学習:こどもエコクラブ

環境学習・体験を通して  
子どもの健全な育成をめざす

## “イオン新居浜チアーズクラブ”

イオンリテール株式会社  
イオン新居浜店

## ／どんなことをやっていますか？

小学1年生から中学3年生までの子どもたちを対象に、環境学習や体験の場を提供する“イオンチアーズクラブ”。新居浜店の近隣に住む子どもたちが月に1~2回程度集まり、店舗の従業員のサポートのもと、「環境」に関するさまざまな活動に取り組んでいます。

2014年度のテーマは“太陽と自然”。全国のイオンチアーズクラブのメンバーが同じテーマで店舗ごとに趣向を凝らした活動を計画しています。

イオン新居浜チアーズクラブではこの活動テーマのもと、「水辺の生き物探し」、「エコ農業産地見学」、「太陽に関する工作」と実験などたくさんの活動に取り組みました。

それぞれの活動では講師の方をお招きすることもあります。地域で活躍されているその分野での「達人の方」に子どもたちは様々なことを教えていただきます。達人の方々の体験に基づくお話はとても興味深く、子どもたちは目を輝かせて聞いています。また、実際に体験させていただけることもありました。

今回はその中のお一人、ツアーハイことプロジェクト地球っ子ひろばの射手建雄さんと協働して取り組んだ“ツアーハイの田んぼの学校”についてご紹介させていただきます。

●活動名 ターハイの田んぼの学校

●活動場所 新居浜市大生院にある里地里山 プロジェクト地球っ子ひろば 三角田んぼ

●実施月 5月、6月、7月、10月、11月

●協働先 プロジェクト地球っ子ひろば、地域の方々

●内容 お米作りを体験することで農作業の大変さや楽しさを知る

活動を通して春から冬までの里地里山の自然を体感する

稲の生長の様子を見ながらその周りにいる生き物の存在に気づき、つながりを考える

活動当日のテントの設置撤収などの準備・片付け作業を参加者みなで行う



生きものの命のつながりのお話

## ／今回協働での活動となったきっかけは？

4年前、新居浜市内であった植樹活動で、射手さんにお声をかけていただいたことがきっかけとなりました。以後、クラブ活動での講師をしていただいたりしながら、お互いの活動内容や運営方針について話し合ううちに、一緒にできることはないかなと計画していきました。

## ／活動してみてもうですか？ OR課題・今後について

当クラブの活動内容は、毎年設定される活動テーマに沿って各店舗の担当者が企画立案しています。活動中に見せてくれる子どもたちの“キラキラの笑顔”や“興味、疑問に満ちた顔”を見るのが励みになります。

今後も活動を通して多くのメンバーや保護者、講師、協働先、各関係機関の方々との出会いがあるかと思っています。その一つひとつを大切にしながら活動を続けていきたいと考えています。

泥だらけ!  
楽し〜い!

## 参加者の声

田んぼの学校では、射手さんにいろんなことを教えてもらったと思います。自然の楽しさや自然の良いところなどのことです。射手さんのおかげで前よりも一層興味を持ってました。友達や家族にも自然が楽しくてわくわくするものなんだということを知ってみたいと思いました。



6年生 男子

イオンリテール株式会社 イオン新居浜店

従業員数 約360名

〒792-0007 新居浜市前田町8-8 ☎0897-31-0600

ホームページ : <http://www.aeon.info/environment/cheers/>

環境学習:こどもエコクラブ

## 子ども達と一緒に環境を考える

西条小学校こどもエコ  
クラブのサポーター

株式会社アドバンテック

## ／どんなことをやっていますか？

株式会社アドバンテックでは、平成18年度から地元西条小学校こどもエコクラブの活動に、サポーターとして協力しています。

社員の中に「愛媛県環境マイスター」がおりますので、そのマイスターが中心となって、こどもエコクラブの活動(年15～18回)において、身近な環境問題から地球の環境まで、子ども達に、できる限り体験を通してわかりやすく学んでもらうお手伝いをしています。

例えば、地元西条の加茂川に出掛け、川と打ち抜きの水との関係を考えたり、地元の発電所や弊社のソーラー発電を見学し、エネルギーを考える学習をしたりと、身近な環境から、実験装置を使って地球温暖化のメカニズムを考えるなどの大きな環境問題まで、実際に見たり、実験するなどの体験から、子ども達に環境について考えてもらっています。そして私たちも地元企業として、一緒になって、将来に向けて地域の環境を守っていくことを考えています。

## ／活動のきっかけは？

〈どうしてCSRの一環として、西条こどもエコクラブサポーターをするようになったのか〉

平成17年度に総合的学習の講師派遣で(愛媛県環境マイスター)西条小学校を訪問したことが縁となり、先生方とお話をする中で翌平成18年度からこどもエコクラブを設立することになりました。その後地元サポーターとして全面的に協力することになり現在に至っています。

## ／活動してみてもうですか？OR課題・今後について

見学などでお世話になった地元企業へは、子ども達がお礼の手紙を書きますが、企業の方も喜ばれています。弊社でも食堂に手紙を掲示しますが、社員も楽しみにしており、地域とのつながりを感じているようです。クラブでの1年間の活動が終了する頃には、子ども達からも「これもやりたい」「これはどうなのか」などの発言が出て、考え方もしっかりとできて成長が感じられます。卒業生からは、将来環境に関わる仕事がしたいと進路を決める子どもも出てきました。

今後は、文部科学省の指導要領変更で4～6年生のクラブ活動が通常単位授業から外れ、運用がそれぞれの学校で自由になりその結果クラブ活動の時間数を少なくするか廃止する方向で進んでいるとのこと。今後の学校方針の検討結果を待っているところです。来年度も出来るだけ継続できればと願っています。



構内に子ども達と作った  
ビオトープで生き物観察



学校は干拓地の中。どのように  
水から守られているのかな

## ／これから活動を始めようと考えている方にメッセージ

CSR活動を本気でやろうとすれば、環境学習を含め課題は沢山あります。小さいことからでもやり始める事が大切ではないでしょうか。まずは会社や組織の一員として何が出来るか皆さんで考えてほしいと思います。

株式会社アドバンテック

社員数90名(愛媛本社)

〒793-0046 西条市港293-1 ☎0897-53-7711

ホームページ: <http://www.advantec-japan.co.jp>



## そのほかの方々

そのほかにも次の事業所の方々から活動事例のご応募をいただきました。

事業所名	所在地	活動内容
しまなみネイチャーテック倶楽部	今治市吉海町	しまなみ地域の自然をテーマに、サイエンスで地域を元気にし、アートでその魅力を発信する、地域貢献活動。
株式会社 井関松山製造所	松山市馬木町	農業用機械器具の製造工場において、排水処理や鋳造の設備更新によりCO <sub>2</sub> 削減や電気使用量削減などの地球温暖化対策を図ったもの。
四国ガス株式会社	愛媛県内各地 (本社:今治市南大門町)	四国各地区で、天然ガス工場の見学受け入れを実施し、都市ガスの製造工程見学やLNG冷熱実験などを通じて、都市ガスと環境との関わりを学んでもらう活動。
愛媛信用金庫	松山市二番町	「環境方針」を制定。「環境自主行動計画」による環境負荷軽減(省エネ等)から、エコマイカーローンなど「環境貢献型商品」の開発推進まで、さまざまな活動を実施。
株式会社 山全 愛媛営業所	西条市朔日市	工事現場でのCO <sub>2</sub> カーボンオフセット活動。工事現場で使用した重機から排出されたCO <sub>2</sub> に相当する排出枠(クレジット)を購入し、環境貢献につなげる。
帝人株式会社 松山事業所	松山市北吉田町	地域や地球貢献活動の一環として、水源確保を目的とした森林ボランティア活動を継続。石手川上流域にクヌギや芝桜の苗木を植樹。
四国電力株式会社	愛媛県内各地 (本社:高松市)	四国地域のエネルギー供給を担う企業として、さまざまな環境保全活動を実施。木質バイオマス発電など再生可能エネルギーの活用や、施設見学会や出前エネルギー教室なども行う。
三浦工業株式会社	松山市堀江町	社員からボランティアを募り、地域の清掃活動や、行政や地域の団体等が主催する様々な環境活動に参加。(県元気な集落づくりボランティア、伊予銀森のあるまちづくりなど)。
住化不動産株式会社 愛媛支店	新居浜市新田町	飲料自動販売機事業において、空き缶・ペットボトルを回収し、リサイクルで得た収益金をもとに、住友化学愛媛工場と共同で、新居浜市内の福祉施設や学校へ物品を贈呈。
株式会社レディ薬局	松山市南江戸	薬局店舗(新空港通り店)でのエコステーションや本社屋上に太陽光発電パネルを設置。また近隣の清掃活動を行ったり地球温暖化防止の各種キャンペーンに参加するなど様々。
太陽石油株式会社	今治市 (本社:東京都)	県企業の森づくり活動への最初の参加企業として、「今治市太陽が育む森」で森林ボランティア活動に取組む。植栽や間伐といった森林再生活動から、体験学習会も実施。
東芝Eコントロールシステム株式会社	松山市大橋町	自社の環境方針策定をきっかけに、市民大清掃への参加したり、松山市の主催する「エコ☆スタ宣言」活動や県法人会連合会CO <sub>2</sub> 削減エコ活動に参加するなど環境活動に取組む。

ご応募いただきました企業等のみなさま、ご協力ありがとうございました。

## 概要

## 「えひめの環境活動応援セミナー」



～地域のなかで企業やNPO等とともに～を開催しました。

(日時:平成27年2月17日(火) 場所:にぎたつ会館)

企業やNPO等の環境活動団体、市町など、様々な主体が一同に会して、講演やパネルディスカッションに参加。企業やNPO、行政などがそれぞれの立場から、地域の課題解決のため、協力してできることを考えました。少しでもその内容をみなさまへお伝えします！



## 【基調講演から】

テーマ:地域での課題解決のために

～CSRを基軸に企業やNPOの活動と協働～

講師:京都CSR推進協議会会長 明致 親吾さん

社会課題解決のためには、行政だけでなく、市民やNPO、団体、企業など多様な主体が、役割を分担し、社会事業を担う時代になっている。では、企業の役割や取組み、CSRを考えるとどうか。

CSR(Corporate Social Responsibility)は「企業の社会的責任と直訳されるが、取組みは大企業が中心。なぜ中小企業には、CSRが十分に広がっているといえないのか。大企業では推進する組織も人も資金もあるけれど、中小企業はそうではない。でも小さな企業ならではの取組み方があると思う。

CSRのR、Responsibilityを「信頼」と訳して、「企業の社会的信頼」としてはどうか。

「信頼」と考えると、京都に多くある老舗企業でも受け入れやすいようだ。CSRを、企業の関係先と信頼を築く経営と捉えて取り組んではどうだろう。

地域の課題解決に本業を通じた活動を織り込んで、関係先や地域との信頼を築いてゆけば、その活動が、ひいては、企業の業績や収益にもつながる。「得」するCSRであり、「徳」ともなるのではないか。

また、NPOのミッションと、企業のCSRとは相通じるものがある。企業とNPOが協働することは、双方の得意分野を活用でき有効な手段となるだろう。協働に至るには、じっくり対話することが必要となるが、NPOが企業に協働を提案する際には、企業の本業をよく研究し、提案することが肝要であり、成功への近道となるだろう。

## 【パネルディスカッションから】

テーマ:環境活動～地域のなかで私達のできること～

コーディネーター:NPO法人えひめリソ-スセンター理事長 泉谷 昇さん



各パネリストの事例紹介から熱心な質疑が行われました!

## ◆パネリスト

プロジェクト地球っ子ひろば 代表 射手 建雄さん

耕作放棄地を再生した体験農場で、子供達に農作物の栽培から収穫までの体験を通じ、生命のつながりや自然のしくみを考えてもらう活動を実施。今年度は、地域の農家やイオン新居浜チアーズクラブとの協働事業。射手さん側は、プログラム面でのサポートやフィールドの提供などの面で、イオン側は、参加者の確保や運営スタッフの面で相互に協力しました。

## ◆パネリスト

京都CSR推進協議会会長 明致 親吾さん

中小企業や小規模事業者のCSRの取組みを促進・支援することを目的に、京都の経済団体や中間支援組織、行政が協力して、2011年4月に発足した団体。協議会では、CSRを「企業が社会の『信頼』を得る取組み」と捉え、自社の取組みレポートの作成過程を通じた具体的な支援や、ウェブサイトでのCSRに関するさまざまな情報提供、セミナーや講演会を実施。

## ◆パネリスト

ロイヤルアイゼン株式会社 代表取締役副社長 姜 公佑さん

スーパーで発生する食品残さなどを原料に堆肥を製造。県中予地区のフジ、地域の農家と協力し、製造した堆肥を使って地域の農家が生産した野菜を、フジ各店で販売する食のリサイクルグループを実現(風早有機の里づくり推進協議会事務局)ここに至るには、地域方々の協力なくしては考えられないとの熱いコメントも。

また会場内には、行政やNPOとの連携のため活動している四国EPO(四国パートナーシップオフィス)さん提供によるESD(持続可能な開発のための教育)に関するパネル展示や、株式会社アドバンテックさんによる、企業のCSRの一環として取り組んでいる、西条小学校こどもエコクラブのサポート活動紹介のパネル展示をいただきました。

セミナーをふりかえって

## NPOや企業との協働

「パネルディスカッション」コーディネーター NPO法人えひめリソースセンター理事長 泉谷 昇

### 基調講演から



今回の「えひめの環境活動応援セミナー」の前に、友人から「CSRに興味はあるけど、仕事が忙しくて参加するか迷っている…」という相談がありました。私は「講演やパネルディスカッションで具体的な事例紹介もあるから参考になるはず、待っています！」と呼びかけました。

この「CSRに興味はあるけど、仕事が忙しくて」という言葉には「事業とCSRは別モノ」と感じ、ここがCSRの課題と感じたまま、明致さんの講演を拝聴しました。そして3つのキーワードが大切だと思いました。

### 3つのキーワード

3つのキーワードとは「CSR(企業の社会的責任)」「協働」「アウトカム(創出された価値)」です。

1つ目は「CSR(企業の社会的責任)」。

CSRとは、地域で活動する企業が果たすべき役割です。と、真っ正面から意義を書くと敬遠されがちなのが「CSR(企業の社会的責任)」です。そして、何か手間や面倒という印象があるのが現在のCSRでもあります。それはなぜか？それはCSRの「和訳」にあると思います。CSRとはCorporate Social Responsibilityの頭文字をとった略称で、「Responsibility」という和訳が「責任」という意味なので、企業にとって「責任を負わされる」と感じ取られても仕方ありません。

しかし、明致さんの講演では「Responsibility」を「責任」ではなく「信頼」と訳していました。辞書などを調べると、責任という意味以外に信頼も掲載されていたことに驚き、共感したのは私だけではないでしょう。「企業の社会的信頼」と表現することで、企業と地域は「責任」ではなく「信頼」で繋がっていることを気づかせてくれました。

2つ目は「協働」です。

企業がCSRに取組みたい、取り組もうと思った時、自社単独だけでは効果や成果は限定的になる可能性があります。そこで効果的な手段として「協働」があります。えひめリソースセンターでは協働を「共通の目的を果たすために、多様な組織が互いの資源を持ち寄り、対等な立場で協力し働くこと」と定義しています。

ポイントは「多様な組織が互いに資源を持ち寄り、対等な立場で」という所で、専門・得意分野で連携しあうことです。互いに過不足を補完しあい目的を達成することは、不透明感、不確実性が増す今後において、一つの対応策と考えています。

3つ目は「アウトカム(創出された価値)」です。

協働に取り組んでも効果や成果が予測よりもない場合があります、その時は下記の3点を確認してみてください。

- ① 協働自体が目的になっていなかったか？
- ② 達成する目的は共有されていたか？
- ③ 創出する価値は共有されていたか？

協働は「目的ではなく手段」なので、大切なのは「協働によって創出された価値(アウトカム)」です。ここで言うアウトカムには「受益者」がいます。事業は人へ行うものなのであり、どんな人へどれほどの価値を提供できるか？協働の前に関係者と確認されることをおすすめします。

CSRや協働は「本事業とは別モノ」ではありません。本事業にCSRや協働を組み込むことは可能です。事業に取り組むことで地域と共に持続でき、成長もできると思います。

講演に出席してくれた友人から「とても参考になった、周りとの情報を共有する」と返信がありました。こうして、一人一人が「CSR」や「協働」について考え、職場などに持ち帰って考える。明致さんの経験談やCSRの意義などを知った一人一人が働く場や企業などです。今回のセミナーが愛媛県にとってCSR促進の一助になると確信しました。

## パネルディスカッションから

基調講演に続き行った「パネルディスカッション」で、想像していた内容よりも濃い意見交換ができました。基調講演の講師に引続き京都CSR推進協議会会長の明致親吾さん、ロイヤルアイゼン株式会社代表取締役副社長姜公佑さん、プロジェクト地球っ子ひろば代表選手建雄さんの3名から活動紹介、事例紹介をいただきました。

明致さんからは京都で取組まれている内容を先進事例として紹介いただき、姜さんからは自社が地域の生産者と取組まれている事例を協働の視点から紹介いただき、選手さんからはNPOの立場から見た企業との協働について事例を紹介いただきました。

「想像していた内容よりも濃い意見交換」と言うのは、紹介後のパネルディスカッションで、会場からの多数の質問が出たことで、参加者がより深く知ることができたことです。例えば、京都CSR推進協議会からは、「企業のCSR導入は研修などに参加することで、自社でもきっかけづくりができる」と、質問から導きだせたり、ロイヤルアイゼンさんからは、「事業実施前の生産者、地元住民との意見交換で信頼し合える仲になるのが大事だった」と、質問から得ることができました。プロジェクト地球っ子ひろばさんは、「いきなりの協力ではなく最初の接点は小さかったものの、実績と信頼を重ねて徐々に接点が大きくなり、現在に至っている」と質問から分かりました。

ロイヤルアイゼンさんへの質問が特に多かったのは、CSRに興味関心がある参加者が多かったからと推察しています。単なる事業、活動紹介だけでは得られない深い部分が質問から得られたことは、大きな成果だったと思います。このような企業側、NPO側からの取組紹介が今後も行えると、CSRや協働は浸透、促進すると感じました。

これからCSRや協働について検討を始められる時は、えひめリソースセンターが相談・協力に応じますので、お気軽にお声がけください。



# NPO法人えひめリソースセンター

愛媛県を豊かにする公益活動の支援を目的に、社会資源の橋渡しを行っているNPO法人。「愛媛を豊かにする本気アイデアを持つ個人やNPO、企業」「事業や組織の強化をはかりたいNPO」「社会貢献活動を通し持続的に成長したい企業」「協働による地域の活性を推進したい行政」を対象に研修やプレゼンテーションによる事業マッチング、全国の中間支援組織とのネットワークによる情報収集などを行っています。

## 設立背景

地域が抱える課題改善のために、愛媛県社会福祉協議会、NPO法人えひめNPOセンター(解散)、前田眞、NPO法人えひめグローバルネットワーク、NPO法人いよココロザシ大学が、協働で取組んだ活動「新しい公共支援事業(H22-H23)」の継続・発展を目的に平成25年に設立しました。

## えひめSEED

えひめSEEDでは、活動に必要な資金を「志金(想いをのせたお金)」とし、お金だけではなく「ヒト(時間、人脈)」「モノ」「場所」も橋渡しします。お金以外にも、想いを後押しする手段があると考えられるからです。

えひめSEEDを通して、愛媛を豊かにする「本気プロジェクト」を個人、NPOなどから募り、実現に向けて橋渡しをします。

※プロジェクトとは、地域資源(志金、ヒト、モノ、場所、時間)の橋渡しが必要なアイデアです。

想いを「託す・託される」橋渡しサイト  
Sustainable Empowerment for Ehime Drama  
えひめSEED www.seed.chime.jp

本気プロジェクトに必要な資金  
発想を豊かにする  
本気プロジェクトを提案

本気プロジェクトを支援  
●プロフェッショナルな支援  
●個人・法人・団体への支援  
●NPO・法人・団体への支援  
●個人・法人・団体の活動支援  
●NPO・法人・団体の活動支援

応援したい  
必投資として  
自ら持つ資源を提供

社会から信用・信頼の向上、公益活動への参加機会創出

えひめSEEDは愛媛初のクラウドファンディングサイトで、「愛媛を豊かにする本気プロジェクト」の実現を橋渡しします。

3Dプリンタを引出した子供も...  
美りや性比、愛媛の魅力  
愛媛県おばあちゃんキャンプ  
学びと愛を共有するシェアハウス  
実践可能な現代のシキヤター  
子供と遊ぶためのシェアハウス

達成率 136% 19,000円 終了  
達成率 171% 34,000円 終了  
達成率 4% 15,000円 終了  
達成率 100% 25,000円 終了  
達成率 101% 26,000円 終了

これまでに10種類以上のプロジェクトが掲載され共感を得ています。

NPO法人えひめリソースセンター

〒790-0003愛媛県松山市三番町6丁目1-8アポロビル2階 ☎089-934-5158

E-mail : ehime.resource@gmail.com ホームページ : www.seed.chime.jp

愛媛県内には、えひめリソースセンターのように、地域の課題解決のために頑張っている人や団体を側面から支援する中間支援組織があります。

県男女参画・県民協働課発行：平成23・24年度「新しい公共支援事業」実績報告書より



## 中間支援を知っていますか？

住民ニーズが多様化している現代。本当に必要とする人が、本当に役立つサービスを受けられるようにするには、公的制度によるセーフティネットだけではもはや限界があります。身の回りに起こる大小さまざまな地域の課題を解決するためには、非公的制度でのセーフティネットを作り、補完し合う必要があります。地域の課題は、そこに暮らし関わる人たち自らの手で解決する、住民が主体的に考え行動する地域社会が今後いっそう求められます。

そんな地域社会の実現に向けて頑張っている人や団体を側面から支援する中間支援組織は、主体的な市民の活動をサポートする機関です。自治会や町内会のような地縁型組織、NPOやボランティアグループのようなテーマ型組織、そして住民それぞれの主体的な取組みが、よりよいかたちで継続でき、相乗効果上がる連携づくりを支援するなど、外部の第三者としての立場・視点で、地域活動及びテーマ型組織活動の総合的な支援を行っています。

### 中間支援組織の主な役割

- |              |  |
|--------------|--|
| ① 社会的起業      | 自分たちの目の前にある課題に対し、仲間を集めて解決に向けて立ち上がろうとするときの起業の支援 |
| ② 地域での合意形成   | 地域における課題解決に向けた、地域内の意思決定のシステムづくりの支援             |
| ③ 協働・ネットワーク化 | 地域内の関係団体、組織間をつなぐ支援                             |
| ④ 事業化        | 団体内の活動が効果的に行われるような事業構築の支援                      |
| ⑤ 情報公開と資金調達  | 団体の活動が社会的信用を得、地域社会や市民から支援によって活動継続できるようになるための支援 |
| ⑥ 事務支援       | 様々な書類作成の支援                                     |
| ⑦ 拠点支援       | 会議室等の場所提供や事務所賃貸等の支援                            |
| ⑧ 相談支援       | その他各種の相談                                       |

### 県内の中間支援組織

組織名	主な活動地域	住所	連絡先
まつやま NPO サポートセンター	松山市	790-0003 松山市三番町 6 丁目 4-20 コムズ内	TEL: 089-943-5790 FAX: 089-943-5796 pico@npo.coms.or.jp
今治市民活動センター	今治市	794-0026 今治市別宮町 8 丁目 1 番 55 号	TEL: 0898-34-8515 FAX: 0898-34-8515 imanpo@nifty.com
新居浜市ボランティア市民活動センター	新居浜市	792-0031 新居浜市高木町 2 番 60 号 (ふれあいプラザ 3F)	TEL: 0897-65-1009 FAX: 0897-65-1009 info@n-syakyo.jp
新居浜市まちづくり協働オフィス	新居浜市	792-0023 新居浜市繁本町 8 番 65 号	TEL: 0897-65-3158 FAX: 0897-65-3157 info@niihama-kyodo.jp
四国中央市ボランティア市民活動センター	四国中央市	799-0404 四国中央市三島宮川 4 丁目 6 番 55 号 (四国中央市役所本庁隣 伊予三島商工会館 1 階)	TEL: 0896-28-6039 FAX: 0896-28-6039 vsc@sikochu.jp
みなと交流館	八幡浜市	796-0061 八幡浜市字海老崎 216 番地 4	TEL: 0894-23-2988 FAX: 0894-23-0880 info@iloveyawahama.com
えひめリソースセンター	愛媛県	790-0003 松山市三番町 6 丁目 1-8 アポロビル 2 階	TEL: 089-934-5158 FAX: 089-934-5158 ehime.resource@gmail.com
愛媛県ボランティア・市民活動センター	愛媛県	790-0855 松山市持田町 3 丁目 8-15	TEL 089-921-8912 FAX 089-921-5289 vsc@ehime-shakyo.or.jp

※各中間支援組織では、地域の実情に合わせ業務内容が異なります。

支援が必要な場合は、まずは最寄りの中間支援組織に相談してみましょう。

## 環境保全活動に関するご相談は

(平成27年3月現在)

	県・市町名	課名	電話番号	備考
	愛媛県	環境政策課	089-912-2345	
1	松山市	環境政策課	089-948-6459	
2	今治市	生活環境課	0898-36-1535	
3	宇和島市	生活環境課	0895-24-1111	
4	八幡浜市	生活環境課	0894-22-3111 (内273)	
5	新居浜市	環境保全課	0897-65-1512	
6	西条市	環境衛生課	0897-52-1382	
7	大洲市	保険環境課	0893-24-1713	
8	伊予市	環境保全課	089-982-1111 (内536)	
9	四国中央市	生活環境課	0896-28-6145	
10	西予市	環境衛生課	0894-62-1132 (直通)	
11	東温市	環境保全課	089-964-4415	平成27年4月以降
12	上島町	住民課	0897-77-2503	
13	久万高原町	環境整備課	0892-21-1111	
14	松前町	町民課	089-985-4117	
15	砥部町	生活環境課	089-962-7446	
16	内子町	環境政策室	0893-44-6159	
17	伊方町	町民課	0894-38-2653	
18	松野町	建設環境課	0895-42-1115	
19	鬼北町	環境保全課	0895-45-1111	
20	愛南町	環境衛生課	0895-72-7316	

※ご相談内容によって、窓口となる部署が異なる場合がありますので、まずはお問い合わせください。

えひめの環境CSR活動応援ブック、いかがでしたか。

県内の活動事例は、事業所周辺の清掃活動から植林活動・緑化活動、環境学習のお手伝いなどさまざまでした。そのやり方も、自社独自で企画されている大がかりな活動もありましたが、清掃活動や森林保全活動における行政の制度を利用したり、環境団体の保全活動や企業や団体等で組織する会の活動に、社員からボランティアを募って参加したりする方法もありました。

また、活動をおこなったの感想や成果としては、地域がきれいになったとか、従業員の環境に対する意識が向上したなどの環境保全に直結した声もありましたが、それだけにとどまらず、地域の人に感謝されているとか、地域の方との関係が良好になった、取引先・顧客から高く評価され取引が安定したという声もありました。

さらには、活動を社員みんなで取り組むことで社員の一体感が生れるなど、地域の中の企業としての意識の向上や社員のやる気が向上する効果もあるようです。

**環境CSR活動が、地域からの信頼や社員のモチベーションUPにもつながる！  
さあ！できることからはじめませんか？**



## えひめの環境CSR活動応援ブック

発行／愛媛県 県民環境部 環境局 環境政策課  
〒790-8570 松山市一番町四丁目4番地2  
TEL／089-912-2345 FAX／089-912-2344  
E-mail／kankyou@pref.ehime.jp  
印刷／平和印刷工業株式会社

※この冊子は、『愛媛県「三浦保」愛基金』を活用して作成しました。